

資料 2

平成 29 年 5 月 19 日

八戸市地域公共交通会議

会長 武山 泰 様

八戸市タクシー協会

会長 小笠原 修



生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）について（申出）

標記事業計画について、八戸市地域公共交通会議設置要綱第 2 条の規定により、次のとおり申し出いたします。

1. 八戸市地域公共交通会議での協議を要する理由

国土交通省の地域公共交通確保維持改善事業における補助制度を活用するにあたり、当該会議において標記計画の協議・合意を受ける必要があるため。

福祉タクシーの導入について

1. 八戸市内のタクシーの状況

八戸市内のタクシーは利用者が年々減少傾向であります。他の公共交通機関にはない、タクシーだからできるサービスがあります。それは戸口から戸口への輸送＝ドア・ツー・ドアの輸送ができ、終電が終わった後の深夜などいつでも誰でも利用できる、移動経路も自由に設定できるなど非常に便利な交通機関、それがタクシーであります。

よって、高齢者・障がい者・車いす利用者など、いわゆる交通弱者等の移動手段として、市民の欠かせない交通機関となっています。

また、深夜乗合タクシーサービス「シンタクン」など、小規模需要交通にも対応し、公共交通機関として様々な役割を果たしています。

(別表参照)

- 身障者割引利用実績（月別・年度実績）：法人、個人
- 福祉タクシー利用実績：三八五交通株式会社、ポストタクシー株式会社
- チケット利用乗車回数実績（市障がい福祉課配布）：三八五交通株式会社

2. 車両更新の方針及び期間等

方針：公共交通事業者として老朽化した車両の更新にあたっては、移動等円滑化のために必要な構造及び設備のある福祉タクシーの導入を進め、すべての人々が快適に安心して乗れる、信頼を得られる公共交通機関としてバリアフリー化を図ることにより、高齢者、障がい者、車いす利用者、妊娠中の女性、子どもなど様々な方の外出支援や社会的活動の参加を促進する。

期間：八戸市内のタクシー事業者で、現在、平成 29 年度から平成 32 年度の 4 年間で 61 台の導入を予定。(現在は 20 台 内訳：回転シート装備車両 5 台 UD タクシー 1 台 ストレッチャー装備車両 5 台 スロープ装備車両 6 台 ストレッチャー&スロープ装備車両 3 台)

3. 福祉タクシーとは

福祉タクシーとは、車イスごと乗れるリフト付きタイプや、介護タクシーによく見られるスロープタイプのほか、病院などで使用している車イスもストレッチャーも乗れるタイプなどがあります。また、移乗して車のシートに直接座るタイプやシートが回転し、昇降するタイプもあります。

4. 補助制度の活用について

福祉タクシーの導入に係る国の補助制度として、1 台あたり最大 600 千円の補助を受けられる「地域公共交通確保維持改善事業費補助金」がある。

この制度を活用するためには、別添「生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）」を八戸市地域公共交通会議に提案し、協議及び合意を得る必要がある。

生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

平成 年 月 日

（名称） 八戸市タクシー協会

（代表者名） 会長 小笠原 修 印

1. 生活交通改善事業計画の名称

八戸市福祉タクシー導入促進事業計画

2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性

タクシーは他の公共交通機関を利用することが困難な地区や時間帯をカバーでき、また 24 時間運行することが可能なことから、今後も地域の公共交通手段の一翼を担えるものと考えております。とくに高齢者や身体の不自由な方の社会参加を進める意味で、タクシーに求められる役割は高まる一方です。

また、市では、平成 28 年 3 月に策定した「八戸市地域公共交通網形成計画」において「快適に乗れる」環境改善戦略として、低床車両等導入プロジェクトの推進に取り組むこととしております。

このことから、福祉タクシー導入によりタクシー車両のバリアフリー化の普及を促進するとともに、高齢者、障がい者、車いす利用者、妊娠中の女性、子どもなどに対しての外出支援や社会的活動の参加を促進する事を目的とします。

また、八戸市地域公共交通網形成計画の幹線・交通拠点の利便さ向上戦略のプロジェクトの一環として、小規模需要対応交通運行プロジェクト深夜乗合タクシー「シンタクン」のサービス提供をしておりますが、福祉タクシーのうちユニバーサルデザインタクシーは観光等にも適している車両でありますので、深夜乗合タクシーにも使用することにより、観光客、ビジネス関係等様々な方への利便性向上を図る事を目的とします。

3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果

（1）事業の目標

現在、八戸市内のタクシー事業者で、協会加入車両台数が 480 台あり、うち、福祉タクシーは、回転シート装備車両 5 台 UD タクシー 1 台 ストレッチャー装備車両 5 台 スロープ装備車両 6 台 ストレッチャー&スロープ装備車両 3 台、計 20 台（4.2%）のみである。

平成 29 年度以降、今後の動向を踏まえ平成 32 年度までに、順次、61 台（12.7%）福祉タクシーへ切り替えることを目標とする。

（予定）平成 29 年度：回転シート装備車両 10 台、UD タクシー 1 台・・・計 11 台

平成 30 年度：回転シート装備車両 12 台、UD タクシー 9 台・・・計 21 台

平成 31 年度：回転シート装備車両 2 台、UD タクシー 14 台・・・計 16 台

平成 32 年度：回転シート装備車両 2 台、UD タクシー 11 台・・・計 13 台（計 61 台）

（想定）平成 32 年度末の福祉タクシー車両台数 81 台（16.9%）

(内訳)

年度	車両種別	台数	導入事業者	台数
H29	回転シート装備車両	10	三八五交通株式会社	10
	ユニバーサルデザインタクシー車両	1	三八五交通株式会社	1
H30	回転シート装備車両	12	三八五交通株式会社	10
			八戸タクシー株式会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	9	三八五交通株式会社	3
			八戸タクシー株式会社	3
			ポストタクシー株式会社	2
県南タクシー株式会社	1			
H31	回転シート装備車両	2	八戸タクシー株式会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	14	三八五交通株式会社	3
			八戸タクシー株式会社	3
			ポストタクシー株式会社	5
			県南タクシー株式会社	1
			マルイタクシー有限会社	2
H32	回転シート装備車両	2	八戸タクシー株式会社	2
	ユニバーサルデザインタクシー車両	11	三八五交通株式会社	3
			八戸タクシー株式会社	3
			ポストタクシー株式会社	5
小計	回転シート装備車両	26	三八五交通株式会社	20
			八戸タクシー株式会社	6
	ユニバーサルデザインタクシー車両	35	三八五交通株式会社	10
			八戸タクシー株式会社	9
			ポストタクシー株式会社	12
			県南タクシー株式会社	2
マルイタクシー有限会社	2			
合計		61		

(2) 事業の効果

福祉タクシーの導入により、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、妊娠中の女性、子どもなどを含め誰もが利用しやすい移動手段の選択肢の一つとして、また、移動への負担が軽減されることも見込まれます。また、高齢者など様々な方の社会的活動の参加の促進が期待できます。

また、福祉タクシーは高齢者やお体の不自由な方ばかりではなく、観光等にも適している車両となっているため、深夜乗合タクシーで利用することにより、観光客、ビジネス関係等の利用者の増加と利便性向上も期待できます。

4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者
(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
(内容) ※具体的に記載すること。 平成 29 年度：回転シート装備車両の導入（10 台）・・三八五交通株式会社 ユニバーサルデザインタクシー車両の導入（1 台）・・三八五交通株式会社
(実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について) 法人、個人全事業者が適用：身体・知的 各1割引（精神については検討予定）

5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額					
29 年度（当該年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負 担割合	市区町村負 担割合	事業者負担 割合
福祉タクシー 導入事業	(回転シート装備車両) 10 台 22,000 千円	6,000 千円	千円	千円	16,000 千円
	100%	27.3%	%	%	72.7%
	(UDタクシー車両) 1 台 3,400 千円	600 千円	千円	千円	2,800 千円
	100%	17.6%	%	%	82.4%
30 年度（翌年度）					
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負 担割合	市区町村負 担割合	事業者負担 割合
福祉タクシー 導入事業	(回転シート装備車両) 12 台 26,400 千円	7,200 千円	千円	千円	19,200 千円
	100%	27.3%	%	%	72.7%
	(UDタクシー車両) 9 台 30,600 千円	5,400 千円	千円	千円	25,200 千円
	100%	17.6%	%	%	82.4%
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。					

6. 計画期間				
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印（←→）、または横棒線（——）で記載。 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載				
事業の名称	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
	4月 9月 12月 3月			
福祉タクシー導入事業	回転シート装備 10 台 UD タクシー 1 台 6月 ●	回転シート装備 12 台 UD タクシー 9 台 6月 ●	回転シート装備 2 台 UD タクシー 14 台 6月 ●	回転シート装備 2 台 UD タクシー 11 台 6月 ●
	●————●	●————●	●————●	●————●
	3月31日完了	3月31日完了	3月31日完了	3月31日完了

7. 協議会の開催状況と主な議論	

8. 利用者等の意見の反映	

9. 協議会メンバーの構成員	
会長	八戸工業大学 教授 武山 泰
国土交通省	東北運輸局 青森運輸支局 首席運輸企画専門官 木村 高広 青森河川国道事務所 八戸国道出張所長 田中 慶裕
関係都道府県	青森県 三八地域県民局 地域整備部 道路施設課長 永澤 親兼
関係市区町村	八戸市 南郷事務所 所長 佐々木 勝康 八戸市 都市整備部 次長兼都市政策課長 大南 博義 八戸市 交通部 次長兼運輸管理課長 小橋 和志 八戸市 建設部 道路維持課長 久保 晶敬
交通事業者・交通施設管理者等	岩手県北自動車株式会社 南部支社 営業企画部長 佐藤 欽一 十和田観光電鉄株式会社 運輸事業部次長 佐藤 美仁 公益社団法人 青森県バス協会 専務理事 赤石 佳昭 八戸市タクシー協会 事務局長 伊藤 正孝 東日本旅客鉄道株式会社 営業総括助役 松橋 昌幸 青い森鉄道株式会社 企画営業部 営業課長 山田 恭輔 青森県 八戸警察署 交通官 高橋 肇
その他協議会が必要と認める者	八戸市老人クラブ連合会 会長 松崎 徹 八戸市社会福祉協議会 総務課長 間山 路代 青森県交通運輸産業労働組合協議会 南部バス労働組合 執行委員長 間山 正茂
公募による選定	一般公募 兵藤 弘純 一般公募 福田 匡彦
地域公共交通アドバイザー	福島大学 准教授 吉田 樹

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 八戸市城下4丁目19-15

(所 属) 八戸市タクシー協会

(氏 名) 伊藤 正孝

(電 話) 0178-24-3335

(e-mail) ito@miyagokotsu.jp

八戸市内タクシー事業者等の状況

平成29年3月31日現在の台数

1. 事業者数・車両数 八戸市 人口(人)=233,070 世帯数(世帯)=107,604

事業者数	車両数	1台あたり人口
34社 (25)	480台 (25)	485人

※()内は個人タクシーでの内数 3月末現在の車両数

2. 各種付随サービスの状況

事業名	事業者数	車両数
福祉タクシー	4社+1者	20台
介護タクシー	2社	16台(福祉タクシー併用)
救援タクシー	4社	347台

3. 事業者別福祉タクシー利用実績【平成28年度】

事業者	台数	福祉タクシー	輸送人員	金額
三八五交通(株)	184台	10台	10,710人	18,842,700円
八戸タクシー(株)	51台	2台	1,100人	2,897,490円
ポストタクシー(株)	53台	6台	2,623人	7,869,000円
県南タクシー(株)	27台	台	人	円
マルイタクシー(有)	28台	台	人	円
文化タクシー(株)	59台	1台	1,000人	2,347,720円
(有)興産タクシー	27台	台	人	円
(有)大石タクシー	18台	台	人	円
富岡観光(株)	8台	台	人	円
個人タクシー	25台	1台		
合計	480台	20台	15,433人	31,956,910円

4. 項目別福祉タクシー利用実績【平成26年～平成28年度】

	平成26年度	平成27年度	平成28年度
障害者割引実績【回数】(法人)	88,106回	84,065回	82,948回
障害者割引実績【金額】(法人)	11,500,395円	10,967,870円	10,889,112円
障害者割引実績【回数】(個人)	812回	1,051回	762回
障害者割引実績【金額】(個人)	131,080円	178,520円	116,930円
障害者割引チケット乗車回数【八戸市配付】 (三八五交通)	8,603回	7,951回	7,927回
障害者割引チケット乗車金額【八戸市配付】 (三八五交通)	5,134,529円	4,800,106円	4,702,990円
福祉タクシー利用実績【回数】 (三八五交通)	9,552回	8,968回	8,963回
福祉タクシー利用実績【人数】 (三八五交通)	10,093人	10,945人	10,710人
福祉タクシー利用実績【金額】 (三八五交通)	20,268,890円	19,427,727円	18,842,700円
福祉タクシー利用実績【回数】 (ポストタクシー)	2,460回	2,550回	2,623回
福祉タクシー利用実績【人数】 (ポストタクシー)	2,460人	2,550人	2,623人
福祉タクシー利用実績【金額】 (ポストタクシー)	7,380,000円	7,650,000円	7,869,000円

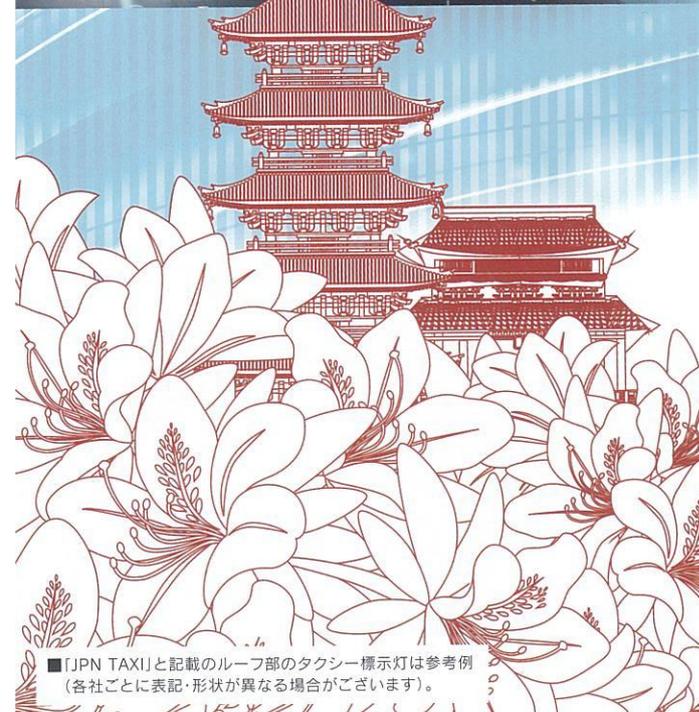
日本の風景を変える。

EXTERIOR

上級

グレード

Upper Grade



■「JPN TAXI」と記載のルーフ部のタクシー標識灯は参考例
 (各社ごとに表記・形状が異なる場合がございます)。

[次世代タクシー]

お客様空間を中心に見晴らしの良さなど、ゆとりの頭上空間を感じさせるフォルム。

低床フラットフロアによる乗り降りのしやすさや、車いすのまま乗車もできるユニバーサルデザインへの適合(予定)、公共交通としての機能性を考慮した運転席まわり。

従来のセダン型タクシーとは一線を画し、使い勝手・居心地の良さを追求した「おもてなし空間」、それが次世代タクシーです。

INTERIOR



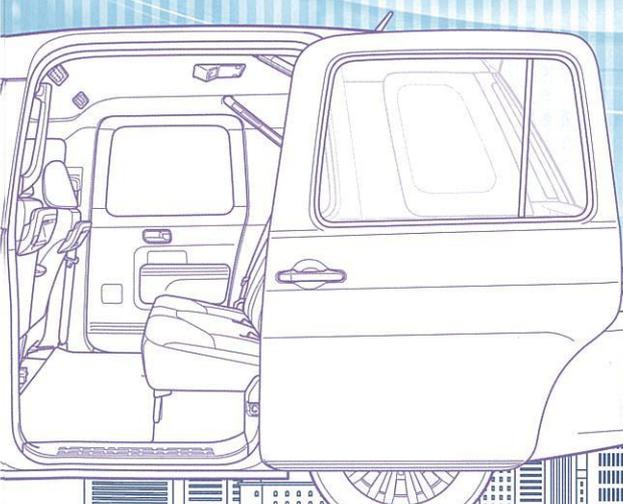
フォーマル性を感じる黒琥珀の室内配色に、気品あるアウトステッチやサテンメッキなど、モダンで品格のある客室を表現。



お客様を安全に、そして安心して目的地までお届けする、プロドライバーの誇りを持つ機能的なコックピット。



琥珀色の温かみのある色味で親しみやすい客室を演出。



■掲載の写真は開発段階の車両であり、実際の販売車両と異なる部分がございます。
■ナビゲーションシステムは販売店装着オプション。表示灯・料金メーター・プリンター・配車システムは参考例。
■写真の計器盤は、機能説明のために各ランプを点灯したものです。実際の走行状態を示すものではありません。
■画面はハメ込み合成です。

福祉タクシーとは

福祉タクシーとは、身体障害者や介護の必要な高齢者の移動のために、車椅子やベッドのまま乗れる装備のあるタクシーです。

また、車椅子からの移乗される方や高齢者、妊娠中の方など、乗降に負担を感じる方などの、シートの乗り降りをサポートするタイプ（回転シートタイプ）も福祉タクシー車両の一種となります。



回転シートタイプ



車椅子仕様車（スロープタイプ）



（リフトタイプ）



ストレッチャー仕様車（リフトタイプ）

ユニバーサルデザインタクシー（UDタクシー）とは

ユニバーサルデザインタクシーとは、健康な方はもちろんのこと、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい“みんなにやさしい新しいタクシー車両”であり、街中で呼び止めてもよし、予約しても良しの誰もが普通に使える一般のタクシーです。

※運賃料金は一般のタクシーと同じです。



トヨタ ジャパンタクシー



日産 NV200タクシー

UDタクシーの特徴は

車内空間



縦にも横にもゆとりのある空間を確保し、ゆったりくつろげる移動空間を確保。

乗降口



乗降時や立ち座り時などの安全確保のため、握りやすく視認性の高い配色の乗降用手すりを装備。また、スライドドア採用、乗降口の低床化することで安全でスムーズな乗り降りが可能に。

車いす乗降&スロープ



ゆとりのある高さと幅を確保することで、安全安心な乗り降りが可能に。スロープ幅を広く、勾配を緩やかなものにするすることで、安全でスムーズな乗り入れが可能に。



収納スペース

ラゲッジスペースを確保することで大きな荷物も余裕で収納できます。